

第7回 多摩市市制施行50周年記念誌編集委員会 要点記録

- 1 日時：令和元年10月4日（金）午後2時から午後4時
- 2 場所：多摩市役所3階 特別会議室
- 3 出席委員：浜田委員長、保坂副委員長、長倉委員、三輪委員、川村委員、松井委員
- 4 議題：執筆依頼状況、レイアウト案について

1 開会

委員長 第7回目の多摩市市制施行50周年記念誌編集委員会を開催する。

2 議題

委員長 本日の配布資料について、事務局より確認及び資料の説明をお願いしたい。

事務局より、配布資料の確認及び資料1に基づき記念誌作成のスケジュールについて説明を行った。

それでは、記念誌作成スケジュールについて、何か意見はあるか。

（特になし）

委員長 それでは、次に資料2の内容について、多摩市文化振興財団より説明をお願いしたい。

多摩市文化振興財団より、資料2に基づき執筆依頼状況について説明を行った。

それでは、執筆依頼状況について、何か意見はあるか。

副委員長 提出時期についてはどの執筆者も問題はなさそうか

財 団 一部、事前に締切時点の提出が難しい方がいるが依頼時点で把握しており、編集の時期の中で調整が出来るので作業スケジュールとしては問題ない。

委員長 他に意見はあるか。

（特になし）

委員長 なければそれでは、次に資料3の内容について、多摩市文化振興財団より説明をお願いしたい。

財 団 財団より、資料3に基づきレイアウト案について説明を行った。

レイアウト案については、既に提出あった原稿を基に作成した。レイアウト案を作成するなかで確認したい事項が何点があるのでご確認いただ

きたい。1点目は、章の数字の表記についてアラビア数字か、ローマ数字の表記が良いか。2点目に題目、書籍名の表記、執筆者の肩書き、章立ての表記について、3点目にテーマカラーについて、4点目に写真の位置と解説文のレイアウトについてである。また提出された原稿についても様々なパターンがあるので、この段階でもし意見があればお伺いしたい。

副委員長 多くの方が見やすいもの、というのが共通のコンセンサスとしてあるので章構成や節も仰々しくなりすぎずわかりやすい形が良いのではないかと。章についてはローマ数字よりもアラビア数字のほうがわかりやすいし、章構成についても第 章 節という表現は硬い表現すぎるのではないかと。

委 員 項目とトピックスも内容が重複するものもあるので、もっとわかりやすい形式でよいのではないかと。

委員長 節の下に小節がつくものについてはどの程度あるのか。これが2段あると邪魔な印象ではある。

副委員長 タイトルについては、行間を空けるなどすると見やすくなるのではないかと。

委 員 タイトルを囲むなどわかりやすく表記する方法はないか。他のページの内容でも統一してタイトルとわかるような表記をすればよいのではないかと。

委員長 カラーサンプルのレイアウトで見比べると、やはり2行になっているのが気になる部分ではある。またカラーはグリーンにしてみるとバランスがよくなるのではないかと。

副委員長 デザイン風にタイトルをすることで差がつけられるのではないかと。

委 員 章と節については章立ての検討をしていたときに必要があった細かく表記をしているが、記念誌にするにあたっては節数字や構成の表記についてはなくしても良いのではないかと。

財 団 これについては頂いた意見をもとに何パターンかサンプルを作ってみるなどして示すようにする。

副委員長 写真を(1)で区切るのは見やすく良いのではないかと。ただ全てを同じレイアウトにする必要はないかとも考える。

委 員 執筆者についてはどういった表記をすれば失礼にあたらないかについて委員長に確認をしたい。他の自治体の記念誌等ではどのようにしているのか。

- 委員長 自治体によって異なるが、今回は執筆者が多いので巻末に一覧形式で入れるかどうか考える必要がある。
- 副委員長 まちまちであり、巻末に章ごとに入れるものもあれば五十音順で表記をすることもある。それぞれのページの最後に名前のみ入れて、巻末に執筆者一覧を詳細に入れるのも良いのではないか。また参考文献も同じく巻末に一括で入れるのが通例と思われる。
- 委員長 他の自治体では写真等の参考資料についても、写真にそれぞれの数字を振って巻末で補記するやりかたもある。全部通し番号があるほうが索引等を作るときも簡単になるかと思われる。
- 財 団 その場合は写真も図も番号をつけていくような形でよいのか、確認したい。
- 委員長 図も写真と同じような対応で良いとは思われる。またこれは執筆者に表記の仕方について相談しておく必要もある。
- 財 団 こちらで変更した場合は執筆者への確認を取りつつ、対応する。
- 委員長 好みの部分もあるが、左にレイアウトが寄りすぎているのではないか。また写真の大きさについても、大きくしたり小さくしたりと執筆者と相談しつつ見せていきたい。写真の大きさについても原稿執筆の時点で指定してもらうような形にするのが良いと思われる。
- 財 団 これから依頼する執筆者については、写真サイズを指定してもらうようにする。
- 委員長 写真は大中小のバランスを尊重して入れていけるようにすると良いと考える。また年号については西暦を和暦にしたということではあるが、西暦先行の和暦が後ろという表現で良いのではないか。
- 財 団 そのように対応するようにする。また、肩書きについては原則記載をするのかどうするか。
- 委員長 今回市民の方もいるので、市民の方をどういった肩書きにするのか。どういった方かということがわかるようにする必要があるのではないか。また冒頭の説明文について他の委員の意見を聞きたい。解説文の図録については2ページにまたがるような形になっても良いか
- 副委員長 きりが良いところで分けられるのであれば良いのではないか。段落がないものは段落を作ってあげるようにするなどする必要があるのではないか。

委員 写真の大小にメリハリがあると見せたい写真がわかりやすいようになっている。見開きの片側に文章がまとまると、内容がわかりやすい。しかし段落で分けられるところがあれば段落を作ってあげたほうが読みやすいのではないか。

委員長 では本日の節・小説の表記は、レイアウト的にもうすこしわかりやすく工夫をしていただくということ、西暦和暦表記は執筆要領に合わせることに、写真・図版の番号としては巻末に一覧を付けるとして通し番号を振りそこに典拠も記載するというのはいかがでしょうかというのが本日の委員会で出た意見である。執筆者については人数が多いので一ページごとに名前は入れつつも、肩書きとしては後ろの一覧表に入れるので良いのではないか。建築物については、読みやすくするために統一した分類でキャプションをつけるのもひとつの方策ではないかという意見であった。

以上が資料3に基づきレイアウト案の協議で出た意見となる。

今後引き続き執筆要領及び執筆依頼文に基づき、執筆者へ依頼を行い、順次執筆を行っていただきレイアウトにいても今回の意見をもとに再度修正頂く。

委員長 それでは、次に付図について、事務局より説明をお願いしたい。

事務局 事務局より、机上に配布した地図と付図について説明を行った

委員長 付図について、何か意見はあるか。

委員長 付図を折込にするのか、どのような形で付けるのが良いかは検討する必要がある。また内容としては教育委員会が出している文化財 MAP の内容が近いが、市民向けとすると観光 MAP のようなカラーのものがとつきやすいのではないか。縮尺についても文化財案内が1万分の1だが、観光 MAP は1万4500分の1で手に収まるサイズの地図なので丁度良いようである。

事務局 こちらについてはまだ事務局で案を作り次回委員会で共有する。

委員長 それでは、次第5の作成部数について事務局より説明をお願いしたい。

事務局 事務局より作成冊数について説明を行った。

委員長 これについて意見はあるか。特になければ、本日の議題については以上である。次にその3 その他について事務局からあれば説明をお願いしたい。

3 その他

事務局

次回、第8回多摩市市制施行50周年記念誌編集委員会については、1月開催予定である。

4 閉会